

校長室だより

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/maruyamadai/>

「努力は足し算、協力は掛け算」

校長 藤 至光

前期中間試験が先週10日、11日に行われました。試験が終わってほっとしている人も多いと思います。1年生にとっては初めての定期試験でした。小学校でのテストと違う点も多く、戸惑いもあったようですが皆さん上手に適応してくれたみたいです。2年生は少しずつ先のことを考える人が増えてきたようです。落ち着いた取組でした。3年生にとっては、一つひとつの試験が進路選択に向けて重要なものになっていきます。自己実現を図るためには、自分の力を伸ばすしかありません。最後は日々の努力がものをいいます。一步一步着実に進んでください。また、この時期から市総合体育大会やコンクールも始まり、これまで一生懸命に取り組んできた部活動の成果を確かめる時期でもあります。持っている力を出せるように頑張ってください。

そして今週は、17日(木)に体育大会を予定しています。梅雨の時期なので、雨も心配ですが、気温の高い日は熱中症も心配です。自身の健康管理を確実にしながら、体調が変化したら無理をしないように十分気をつけてください。

さて、今日は『努力は足し算、協力は掛け算』という言葉についてお伝えしようと思います。この言葉は、皆さん一人ひとりが学校生活を送る上で大切なことを、一つの例えとして表したものです。

まず「努力は足し算」ということですが、小さな努力でもそれを継続すれば、足し算の答えのように大きくなっていくということです。例えば、毎日自宅学習を1日ノート1ページ続ければ、1年間で365ページ、つまり、1冊50ページの大学ノート、約6冊分となります。朝読書の時間に集中して10ページ本を読めば、一週間で50ページになり、1年間で2000ページつまり200ページの本を10冊読み終えることができます。

君たちには、苦手なことがあると思いますが、「苦手だからしない」「きついからいやだ」「したくない」とマイナスの考え、つまり、負の数をいくら足してもプラスになることはありません。英語が苦手な人は、毎日教科書の本文をノートに写してみましよう。計算が苦手な人は、毎日教科書に出ている問題5問に挑戦しましょう。「努力は足し算」です。努力したことは、必ず結果として表れます。

もう一つの「協力は掛け算」についてです。掛け算は足し算より大きな結果に繋がります。3人が2つずつ頑張れば $2 \times 2 \times 2 = 8$ になります。しかし、1人でも協力しない人がいれば、 $2 \times 2 \times 0 = 0$ になってしまいます。3人が協力すれば8なのに、1人でも協力しない人がいれば0になるのです。

もし、1人でも「自分1人ぐらいやらなくてもいいや」「誰かがやってくれるだろう」という「みんなで協力して創り上げよう」という雰囲気を壊す人がいれば、何も創り上げることはできません。逆に、学級全員が同じ思いで協力し合うことができれば、大きなものを創り上げることができます。

5月中旬から、体育大会の種目の「大縄」跳びの朝練習と昼練習が始まりました。当日は、3分間の競技時間の中で、「全員で跳んだ回数+連続で跳べた最大回数」で勝敗を決めます。これは、みんなが揃って練習しないとなかなか上達していかない種目ともいえます。まさに、努力と協力を必要とする種目ではないでしょうか。

体育大会、合唱コンクールは、「団体戦」です。「団体戦」は、一人ひとりが努力することと、みんなが協力することが求められます。君たちは、今の自分に、そして学級に何が必要か、何をやるべきか十分に分かっているはずですが。大切なことは、やるべきことを実行できるか、継続できるか、協力できるかなのです。

私は、これらの行事を通して、君たちの学級が、学年がより良く成長してくれることを期待しています。